

評価指標の達成状況（令和7年度）

指標1 北恵那バス路線沿線地区内の高校生バス通学割合

①バス通学定期券購入者数

区分	購入者数	出典	備考
北恵那バス	110人	北恵那交通（株）	令和7年度購入者
濃飛バス	15人	濃飛バス下呂営業所	令和7年度購入者
合計	125人		

【達成状況に対する考察（指標1）】

- ・保護者会での購入者が減少。（R6：70人⇒R7：45人）
- ・保護者会以外での購入者が増加。（R6：49人⇒R7：65人）
- ・沿線地区の高校生数が年々減少傾向にあり、定期券の購入者数も同時に減ってくると考えられるが、令和8年度から補助金額の拡充や対象地区を拡大したため、効果が反映されてくるのか、今後の推移を注視する。

②沿線地区内の高校生数

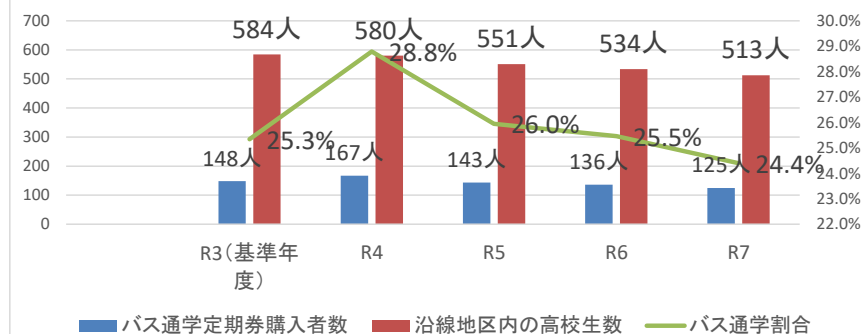
区分	苗木	加子母	付知	福岡	合計	出典	備考
令和6年度の中学3年生	47人	14人	43人	56人	160人	岐阜県庁ホームページ または学校教育課	現高校1年生
令和5年度の中学3年生	46人	19人	50人	59人	174人		現高校2年生
令和4年度の中学3年生	55人	20人	42人	62人	179人		現高校3年生
合計	148人	53人	135人	177人	513人		

目標値

区分	数値
①バス通学定期券購入者数	125人
②沿線地区内の高校生数	513人
バス通学割合（①／②）	24.4%

目標値：25.3%以上

バス通学割合推移



指標2 住民1人あたりの地域公共交通年間利用回数

①公共交通利用者数

区分	利用者数	出典	備考
北恵那バス（補助路線）	368,023人	北恵那交通（株）	令和6年10月～令和7年9月 （令和7年バス年度） 自主運行（川上、夕森、坂本三坂） を含まない
北恵那バス（非補助路線）	257,128人		
明知鉄道阿木駅	60,848人	明知鉄道（株）	令和6年4月～令和7年3月 （令和6年会計年度）
明知鉄道飯沼駅	3,773人		
コミュニティバス（自主運行）	68,757人	北恵那交通（株）	令和6年10月～令和7年9月 （令和7年バス年度） 川上、夕森、坂本三坂分
コミュニティバス	25,285人	都市計画課	
合計	783,814人		

②住民基本台帳人口

区分	人口	出典	備考
住民基本台帳人口	72,716人	市民保険課	令和7年9月末

目標値

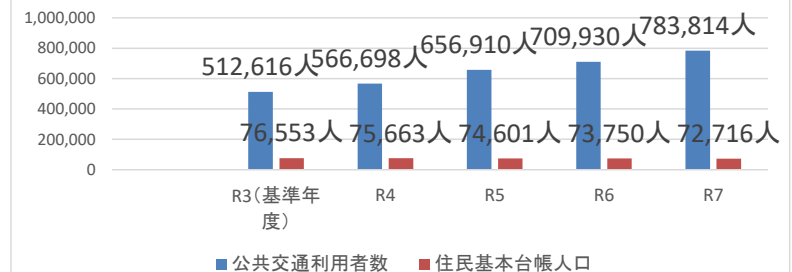
区分	数値
①公共交通利用者数	783,814人
②住民基本台帳人口	72,716人
年間利用回数（①／②）	10.8回

目標値：6.7回/人以上

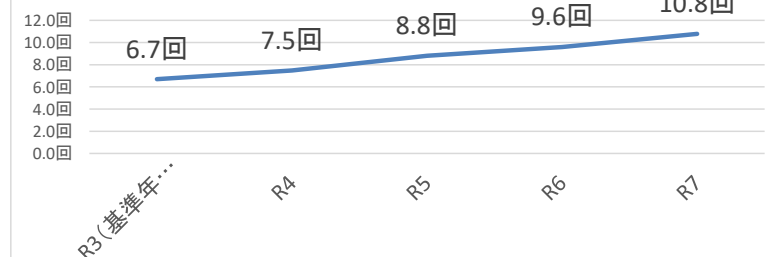
【達成状況に対する考察（指標2）】

- ・馬籠発着の系統がR6より約45,000人利用者が増加している。
- ・通学や通勤、市民病院への通院のために利用される路線は、昨年度と同じくらいの利用がある。
- ・通学の時間に合わせて運行しているコミバスの路線では、利用者数が増加している地区がある。
- ・買い物や通院でコミバスを利用する高齢者が施設へ入居する等、今まで利用していた高齢者が減ってきたため、新規利用者の獲得に向け周知が必要。
- ・利用者数はR6より増加しているが、地域住民と観光客が混在して利用される系統では、地域住民の利用に支障が出ていないか注視する。

公共交通利用者数と住民基本台帳人口推移



年間利用回数推移



指標3 利用者1人あたりの地域公共交通維持費用

①経常費用-経常収益

区分	経常費用	経常収益	出典	備考
北恵那バス（補助路線）	166,812,919円	130,134,078円	北恵那交通（株）	
北恵那バス（非補助路線）	36,672,224円	41,078,607円		
コミュニティバス（自主運行）	35,206,753円	11,535,824円		川上、夕森、坂本三坂分※公費負担
コミュニティバス	46,920,558円	2,092,600円	都市計画課	※公費負担
合計	285,612,454円	184,841,109円		

※北恵那バス：経常費用（キロ当たり単価×走行キロ）、経常収益（運送収入+営業雑収+営業外収益）で算出

【達成状況に対する考察（指標3・4）】

②公共交通利用者数（指標2①から再掲）

区分	利用者数	出典	備考
北恵那バス（補助路線）	368,023人	北恵那交通（株）	令和6年10月～令和7年9月 （令和7年バス年度） 自主運行（川上、夕森、坂本三坂） を含まない
北恵那バス（非補助路線）	257,128人		
コミュニティバス（自主運行）	68,757人		令和6年10月～令和7年9月 （令和7年バス年度） 川上、夕森、坂本三坂分
コミュニティバス	25,285人	都市計画課	
合計	719,193人		

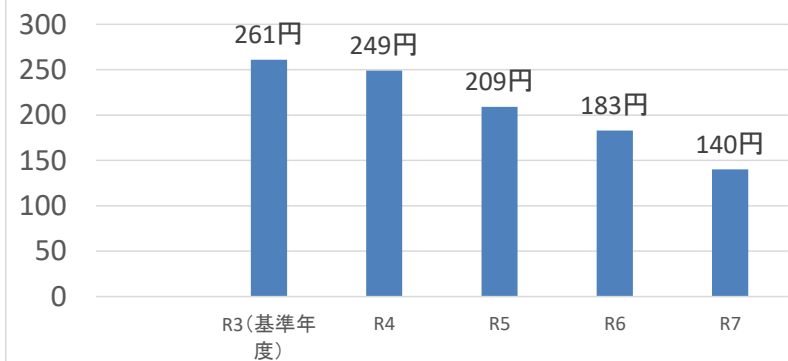
- ・北恵那バスでは、R7.3月に運賃改定を行ったことにより、経常収益が増加している。
- ・利用者数の増加（特に馬籠線）により、1人あたりの維持費用がR6を下回っている。

目標値

区分	数値
①経常費用-経常収益	100,771,345円
②公共交通利用者数	719,193人
維持費用（①／②）	140円

目標値：261円/人以下

維持費用推移



指標4 路線バスの収支

①経常費用-経常収益（指標3①から再掲）

区分	経常費用	経常収益	出典
北恵那バス（補助路線）	166,812,919円	130,134,078円	北恵那交通（株）
北恵那バス（非補助路線）	36,672,224円	41,078,607円	
コミュニティバス（自主運行）	35,206,753円	11,535,824円	
コミュニティバス	46,920,558円	2,092,600円	都市計画課
合計	285,612,454円	184,841,109円	

※北恵那バス：経常費用（キロ当たり単価×走行キロ）、経常収益（運送収入+営業雑収+営業外収益）で算出

目標値

区分	数値
①経常費用	285,612,454円
②経常収益	184,841,109円
収支（①-②）	-100,771,345円

≒ -100,772千円 目標値：-129,324千円 以上

指標5 運転手の新規採用の増加

区分	令和7年度採用人数
タクシー運転手	21人
バス運転手	5人
合計	26人

【達成状況に対する考察（指標5）】

・左記のとおり、新規の採用があったが、運転手の高齢化等に伴い、新規採用をしても退職者が同等の人数がいるため、大幅な増員には繋がっていない。